

2026年5月13日  
株式会社みずほ銀行

## Oishii Farm Corporation への追加の価値共創投資および融資の実行について ～日本発「100兆円産業」創出に向けた植物工場のグローバル展開を支援～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「当行」）は、植物工場の開発・運営を行う米国 Oishii Farm Corporation（CEO：古賀 大貴、以下「Oishii Farm」）に対し、2025年2月に価値共創投資の枠組み<sup>※1</sup>を活用した追加の出資（以下「本追加出資」）を実施しました。これは、2023年9月に公表済の同社の資金調達シリーズBラウンドでの出資<sup>※2</sup>に続き、今般の資金調達シリーズCファーストクローズにおいて追加で出資したものです。

また、同社の日本子会社に対し、2026年4月、日本における事業拡大・運用に必要な資金として融資（以下「本融資」）を実行しました。

本追加出資は、価値共創投資枠における初の追加出資案件であり、本融資は当行が価値共創投資枠で出資した企業に対する初の融資となります。

Oishii Farm は、日本の種苗、IoT、ロボティクス等の技術を活用し、いちごをはじめとした植物工場での高品質農産物の安定量産を実現してきました。日本においては、オープンイノベーションを通じた技術高度化と標準化、ならびにグローバル展開に向けた基盤強化を目的とした植物工場研究施設「オープンイノベーションセンター」の正式オープンを2026年夏に予定しています。今後、産業横断の連携体制を強化し、日本の技術を結集した「植物工場パッケージ」の確立と世界展開を目指しています。

当行は、2023年9月のシリーズBラウンドでの出資に続き、本追加出資および本融資の実行により、成長ステージを通じてエクイティとデットを組み合わせた金融機能を一体的に提供し、Oishii Farm の日本拠点拡大と事業基盤の強化、ならびに成長加速に貢献していきます。

植物工場分野は、気候変動や労働力不足といった社会課題への対応が期待される領域であり、日本の技術力を背景とした新たな産業創出が見込まれています。当行は通常の融資に加え、価値共創投資の枠組みによる出資を通じて、日本を代表する事業会社と日本発技術のグローバル展開を支援するとともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

〈みずほ〉は、パーパス「ともに挑む。ともに実る。」のもと、次世代の有望産業・企業の育成に貢献し、持続的に発展する未来を創っていきます。

ともに挑む。ともに実る。

**MIZUHO**

※1 2023年2月15日付プレスリリース：「価値共創に向けた取組みの強化について」

[https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230215release\\_jp.pdf](https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230215release_jp.pdf)

※2 2023年9月12日付プレスリリース：「Oishii Farm Corporation への出資について」

[https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230912release\\_jp.pdf](https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230912release_jp.pdf)

#### 【Oishii Farm 社の概要】

会社名：Oishii Farm Corporation

所在地：アメリカ合衆国ニュージャージー州

代表者：古賀 大貴

設立：2016年12月

事業：日本の農業技術（種苗・ハウス栽培・受粉等）とロボティクスや最新のデジタルテクノロジーを活用した植物工場を開発・運営し、農作物を生産・販売

URL：<https://oishii farm.co.jp/>

以 上